

4. 2 対外的発表

4. 2. 1 論文発表・口頭発表など

3.1.1

発表者	題名	発表先	発表年月日
H. Sato, N. Hirata, S. Abe and Research group for the crustal structure of Tokyo and Kinki metropolitan areas	Regional characterization of the crust in metropolitan areas, Kanto and Kinki, Japan	Proceedings of the 8th SEGJ International Symposium - Imaging and Interpretation-, Society of Exploration Geophysics of Japan, pp. 317-322.	平成 18 年 11 月 27 日
佐藤比呂志・平田直・阿部進・岩崎貴哉・伊藤谷生・笠原敬司・川中卓・井川猛・加藤直子・斎藤秀雄	大都市圏地殻構造調査・小田原-山梨測線地殻構造探査について	地球惑星科学関連学会合同大会、幕張	平成 18 年 5 月 18 日
佐藤比呂志・平田直・瀬戸一起・伊藤潔・阿部進・岩崎貴哉・伊藤谷生・笠原敬司・川中卓・井川猛・松原誠・小林励司・木村尚紀・萩原弘子・Okaya D.	大都市圏（首都圏・近畿圏）地殻構造調査の成果について	地球惑星科学関連学会合同大会、幕張	平成 18 年 5 月 15 日
Sato, H.	Geometry of source faults in Japanese islands: Results of seismic profiling and geologic modeling	Earthquake in Urban Area: Joint Workshop, Southern California Earthquake Center & Earthquake Research Institute, Oxnard, California	平成 18 年 6 月 2 日
佐藤 比呂志・平田直・阿部 進・岩崎貴哉・加藤直子・伊藤谷生・笠原敬司・斎藤秀雄・川中卓・井川 猛	伊豆半島北西のフィリピン海プレート・アサイスマックスラブの形状と伊豆衝突帯の地殻構造	日本地質学会第 113 年学術大会、高知大学	平成 18 年 5 月 25 日
Sato, H., T. Iwasaki, S. Kodaira and N. Kato	Seismic sections across the Izu collision zone, Japan: On-going arc-arc collision	12th International Symposium on Deep Seismic Profiling of the	平成 18 年 9 月 25・26 日

	system	Continents and their Margins (Seismix2006)	
Sato, H., K. Ito, S. Abe, N. Hirata, T. Iwasaki, N. Kato, T. Ikawa and T. Kawanaka	Deep seismic reflection profiling across the Kinki triangle zone, SW Japan: Deep geometry of densely distributed active faults	12th International Symposium on Deep Seismic Profiling of the Continents and their Margins (Seismix2006)	平成 18 年 9 月 25・26 日
Sato, H., N. Hirata, S. Abe, D. Okaya, K. Koketsu, T. Iwasaki, T. Ito, K. Kasahara, T. Ikawa, T. Kawanaka, N. Kato and M. Matsubara	Regional characterization of the crust in the Tokyo metropolitan area, central Japan	12th International Symposium on Deep Seismic Profiling of the Continents and their Margins (Seismix2006)	平成 18 年 9 月 29 日
Sato, H., N. Hirata, S. Abe, T. Iwasaki, N. Kato, T. Ito, K. Kasahara, H. Saito, T. Kawanaka, T. Ikawa	Geometry of aseismic slab of the Philippine Sea plate and crustal structure of the Izu collision zone, central Japan	12th International Symposium on Deep Seismic Profiling of the Continents and their Margins (Seismix2006)	平成 18 年 9 月 25・26 日
佐藤比呂志・平田直・伊藤 潔・阿部進・岩崎貴哉・額瀨一起・加藤直子・萩原弘子・伊藤谷生・笠原敬司・川中卓・井川猛・松原誠・木村尚紀・Okaya D.	大都市圏地殻構造調査の成果について	日本地震学会 2006 年秋季大会, 名古屋, 名古屋国際会議場	平成 18 年 11 月 2 日
木村治夫・佐藤比呂志・須田茂幸・川崎慎治・阿部 進・加藤直子・平田 直・伊藤谷生・笠原敬司・川中 卓	大都市圏地殻構造調査・北関東測線 2005 の成果	日本地震学会 2006 年秋季大会, 名古屋, 名古屋国際会議場	平成 18 年 11 月 2 日
加藤直子・佐藤比呂志・阿部 進・岩崎貴哉・平田 直・木村治夫・伊藤谷生・笠原敬司・今泉俊文・斉藤秀雄・川中	大都市圏地殻構造調査・小田原-山梨測線 2005 の地殻構造	日本地震学会 2006 年秋季大会, 名古屋, 名古屋国際会議場	平成 18 年 11 月 2 日

卓・井川 猛			
Hirata, N., H Sato, K Koketsu, H Hagiwara, F Wu, D Okaya, T Iwasaki, K Kasahara	Mega-thrust and Intra-slab Earthquakes Beneath Tokyo Metropolitan Area	AGU Fall meeting, S31C-04, San Francisco, USA, 2006	平成 18 年 12 月 13 日
Sato, H., N. Hirata, S. Abe, T. Iwasaki, K. Ito, D. Okaya, T. Ito, K. Kasahara, K. Koketsu, N. Kato, H. Hagiwara, T. Kawanaka, T. Ikawa	Imaging of seismogenic source faults in metropolitan areas in Japan	2005 AGU Fall meeting, San Francisco	平成 18 年 12 月 13 日
新井隆太・岩崎貴 哉・佐藤比呂志・阿 部 進・平田 直	関東山地東縁部における 地殻構造 ―大都市圏地 殻構造調査関東山地東縁 2003測線の屈折法解析 ―	日本地震学会 2006 年秋 季大会，名古屋，名古屋 国際会議場	平成 18 年 11 月 2 日

3.1.2

著者	題名	発表先	発表年月日
Kato, N., H. Sato, S. Abe, H. Saito, K. Ito, T. Iwasaki, N. Hirata, T. Ito, T. Ikawa and T. Kawanaka	Deep seismic reflection profiling across the Median Tectonic Line in the Kii Peninsula, SW Japan	American Geophysical Union 2006 Fall Meeting, American Geophysical Union, San Francisco	平成 18 年 12 月 13 日

3.1.4

著者	題名	発表先	発表年月日
笠原敬司, 須田茂幸, 佐藤比呂志	関東平野のバイプロサイ ス反射法地震探査の再解 析	地震研彙報	投稿中

3.1.5

著者	題名	発表先	発表年月日
Kikuchi, S., H. Sato, N. Hirata, T. Iwasaki, Y. Ikeda, T. Ito, N.	Quasi-3D image of the aseismic slab of the Philippine Sea plate	12 th international symposium on deep seismic profiling of the continents	September 24-29, 2006

Tsumura, T. Kawanaka, S. Abe, T. Kozawa and M. Higashinaka	beneath the northwest of Izu-Tanzawa collision zone.	and their margins.	
菊池伸輔・佐藤比呂 志・平田直・岩崎貴哉・ 池田安隆・伊藤谷生・ 津村紀子・川中卓・阿 部進・小澤岳史・東中 基倫	大大特小田原-山梨測線 で確認された非地震性領 域 PHS スラブ反射面の甲 府盆地地下における東西追 跡	日本地震学会 2006 年度秋 季大会、主催：日本地震学 会	平成 18 年 11 月 2 日

3.1.6.

著者	題名	発表先	発表年月日
浅尾一已・伊藤谷 生・佐藤比呂志・須 田茂幸・川崎慎治	房総横断反射法断面に認 められる上総/下総層群 中の鍵層準と地質構造	日本地質学会第 113 年学 術大会	平成 18 年 9 月 17 日

3.1.7

著者	題名	発表先	発表年月日
萩原弘子・五十嵐俊 博・平田直・酒井慎 一	房総半島直下のフィリピン 海プレートの速度構造	日本地球惑星科学連合 2006 年大会	平成 18 年 5 月 16 日
萩原弘子・五十嵐俊 博・平田直・酒井慎 一	大都市圏地殻構造調査： 房総アレイ・構造探査デ ータを用いた、地震波ト モグラフィーによる関東 地方の速度構造	日本地震学会 2006 年秋 季大会	平成 18 年 11 月 2 日
五十嵐俊博・萩原弘 子・平田直	レーザー関数解析から 推定された大大特房総ア レイ下の深部地殻構造	日本地震学会 2006 年秋 季大会	平成 18 年 11 月 2 日
Hagiwara, H., T. Igarashi, N. Hirata and S. Sakai	Velocity structure in the Kanto Region from dense array observation: A new configuration of the Philippine Sea plate	American Geophysical Union 2006 Fall Meeting	平成 18 年 12 月 13 日
Igarashi, T., H. Hagiwara and N. Hirata	Seismic velocity structure of the crust and uppermost mantle	American Geophysical Union 2006 Fall Meeting	平成 18 年 12 月 15 日

	beneath the Japan islands inferred from receiver functions and comparison with those of travel time tomography		
--	--	--	--

3.1.8

著者	題名	発表先	発表年月日
伊藤潔, 廣瀬一聖, 澁谷拓郎, 大見士朗, 梅田康弘	近畿地方における P 波速度構造および反射面と地震活動	日本地球惑星科学連合 2006 年大会	2006 年 5 月 16 日
廣瀬一聖, 伊藤潔	人工地震探査による近畿地方中北部の地殻構造 (3)	日本地球惑星科学連合 2006 年大会	2006 年 5 月 16 日
Ito, K., Hirose, I., Shibutani, T., Ueno, T. and Umeda, Y.	Subduction of the Philippine Sea plate from seismic surveys with reference to seismicity in Southwest Japan	2006 Western Pacific Geophysics Meeting	2006 年 7 月 25 日
Ito, K., Sato, H., Ito, T., Nakanishi A., Kodaira, S., Umeda, Y., Hirose, I., Hirata, N., Miura, S., Ito, A., Sato, T., Park, J., Kaneda, Y. Abe, S., Kawanaka, T. and Ikawa T.	Seismic sections across the Kinki district: subducting Philippine Sea plate from the Nankai Trough	12 th International symposium on deep seismic profiling of the continents and their margins	2006 年 9 月 27 日
Ito, K., Sato, H., Ito, T., Hirose, I., Shibutani, T., Umeda, Y., Hirata, N., Y. Abe, S., and Ikawa, T.	Velocity structure, reflectors, seismicity and low-frequency tremors relating to subduction of the Philippine Sea plate in the Kinki district, Southwest Japan	12 th International symposium on deep seismic profiling of the continents and their margins	2006 年 9 月 27 日
Hirose, I. and K. Ito	Deep structure and	12 th International	2006 年

	seismicity in the Kinki district, southwest Japan, as revealed by seismic refraction and wide-angle reflection surveys	symposium on deep seismic profiling of the continents and their margins	9 月 27 日
伊藤 潔, 梅田 康弘, 片尾 浩, 廣瀬 一聖, 佐藤 比呂志, 平田 直, 阿部 進, 川中 卓, 井川 猛	有馬高槻構造線付近の地下構造地震探査	日本地震学会 2006 年秋 季大会	2006 年 11 月 2 日
廣瀬 一聖, 伊藤 潔	広角反射法地震探査記録を用いたモホ面の深さの推定	日本地震学会 2006 年秋 季大会	2006 年 11 月 2 日
廣瀬 一聖, 伊藤 潔	大大特 I : 地殻構造探査による近畿地方の P 波速度構造	日本地震学会 2006 年秋 季大会	2006 年 11 月 2 日
Ito,K., I. Hirose, Y. Umeda, T. Shibutani and T. Ueno.	Crust and Upper Mantle Structure With Reference to Seismic Activity in the Kinki District, Japan From Seismic Surveys	American Geophysical Union 2006 Fall Meeting	2006 年 12 月 15 日

3.1.9

著者	題名	発表先	発表年月日
澁谷 拓郎, 伊藤 潔, 大見 士朗, 他	レシーバ関数解析による紀伊半島下のフィリピン海プレートのイメージング	日本地球惑星科学連合 2006 年大会	平成 18 年 5 月 16 日
澁谷 拓郎, 伊藤 潔, 大見 士朗, 他	紀伊半島～近畿北部地域におけるレシーバ関数イメージ	日本地震学会 2006 年秋 季大会	平成 18 年 11 月 2 日
西村 和浩, 中尾 節郎, 三浦 勉, 他	大大特 : 近畿地方縦断自然地震観測	京都大学防災研究所年報, 49, B, pp. 297-306, 2006	平成 18 年 4 月

3.2.2

著者	題名	発表先	発表年月日
----	----	-----	-------

林広樹・阿部恒平・柳沢幸夫・笠原敬司	神奈川県西部，山北南地震観測井のコア 試料から産出した有孔虫化石	地質調査研究報告，第 3/4 号，127-133	2006 年 11 月
林広樹・伊藤谷生・上杉陽・小山田浩子・笠原敬司・関口渉次・高橋雅紀・田中裕 一郎・津久井雅志・松井智之・松本拓己・山崎優・山田隆二・山水史生・柳沢幸夫・渡辺真人	神奈川県西部山北南高感度地震観測井の掘削および孔内検層	防災科学技術研究所研究資料，第 298 号，1-32	2006 年 10 月
津久井雅志・山崎優・松井智之・小山田浩子・上杉陽・林広樹・柳沢幸夫・笠原敬司	伊豆弧北端の火山岩類の記載と地殻構造－山北南大深度観測井の箱根火山，先箱根火山岩類から－	地質調査研究報告，2006 年，（印刷中）	
林広樹・伊藤谷生・上杉陽・笠原敬司・関口渉次・高橋雅紀・津久井雅志・松本拓己・山水史生・柳沢幸夫	伊豆衝突帯北東部における大深度陸上掘削の成果	月刊地球，2007 年，号外，第 57 号，（印刷中）	
林広樹・阿部恒平・柳沢幸夫・田中裕一郎・笠原敬司	神奈川県西部，山北町の深層ボーリングにより得られた有孔虫化石	日本古生物学会 2006 年年会（島根大）	2006 年 6 月 24 日
林広樹・笠原敬司	関東平野の基盤構造－大都市大震災軽減化特別プロジェクトの成果－	平成 18 年度（第 22 回）島根県地学会研究発表会（島根大）	2006 年 7 月 8 日
林広樹・高橋雅紀・柳沢幸夫・笠原敬司	関東平野地下における新第三系分布図の改訂	日本地質学会第 113 年学術大会（高知大）	2006 年 9 月 16 日
林広樹・柳沢幸夫・高橋雅紀・関口渉次・笠原敬司	関東平野の地下地質構造モデルの改訂	日本地震学会 2006 年秋季大会（名古屋市）、P174	2006 年 11 月 2 日

3.2.3

著者	題名	発表先	発表年月日
----	----	-----	-------

松原誠・小原一成・笠原敬司	三次元速度構造と相似地震の分布から推定した関東地域の下のリピン海・太平洋プレートの形状	日本地震学会 2006 年秋季大会, C65	2006 年 11 月 2 日
Matsubara, M., K Obara and K Kasahara	Small repeating earthquake activity beneath the Kanto and Tokai region, central Japan, from 1979 to 2001 derived from NIED Kanto-Tokai seismic network	American Geophysical Union, 2006 Fall Meeting, T11G-04	2006 年 12 月 11 日

3.2.4

著者	題名	発表先	発表年月日
柳 沢 幸 夫・渡 辺 真 人・高橋雅紀・田中裕一郎・木村克己・林 広樹	大深度ボーリング試料による地質年代調査	大都市大震災軽減化特別プロジェクト I 地震動（強い揺れ）の予測「大都市圏地殻構造調査研究」（平成 16 年度）成果報告書, pp. 296-329	平成 18 年 5 月
林 広樹・阿部恒平・柳沢幸夫・笠原敬司	神奈川県西部, 山北南観測井のコア試料から産出した有孔虫化石	地質調査研究報告, Vol. 57, pp. 127-133.	平成 18 年 9 月
津久井雅志・山崎優・松井智之・小山田浩子・上杉 陽・林 広樹・柳沢幸夫・笠原敬司	伊豆弧北端の火山岩類と地殻構造—山北南大深度観測井の箱根火山, 先箱根火山岩類から—	地質調査研究報告, Vol. 57, pp. 197-215.	平成 18 年 12 月

3.3.2

著者	題名	発表先	発表年月日
加藤直子・佐藤比呂志・今泉俊文・加藤一・荻野スミ子・木村治夫・楮原京子・井川 猛・小池太郎	曾根丘陵断層群を横切る反射法地震探査	日本地質学会第 113 学術大会	平成 18 年 9 月 17 日
Kato, N., Sato, H.,	Active tectonic features in	12th International	平成 18 年

Imaizumi, T. and Ikawa, T.	the northern part of the Izu collision zone, central Japan	Symposium on Deep Seismic Profiling of the Continents and their Margins (Seismix2006)	9 月 25・26 日
加藤直子・佐藤比呂志・阿部 進・岩崎貴哉・平田 直・木村治夫・伊藤谷生・笠原敬司・今泉俊文・斉藤秀雄・川中卓・井川 猛	大都市圏地殻構造調査・小田原-山梨測線 2005 の地殻構造	日本地震学会 2006 年秋季大会	平成 18 年 11 月 2 日
加藤直子・佐藤比呂志・今泉俊文・加藤一・井川 猛・荻野スミ子・木村治夫・楮原京子・小池太郎	曾根丘陵断層群を横切る浅層反射法地震探査	地震研究所彙報	印刷中
Kato, N., H. Sato, S. Abe, H. Saito, K. Ito, T. Iwasaki, N. Hirata, T. Ito, T. Ikawa and T. Kawanaka	Deep seismic reflection profiling across the Median Tectonic Line in the Kii Peninsula, SW Japan	American Geophysical Union 2006 Fall Meeting	平成 18 年 12 月 13 日

3.3.3

著者	題名	発表先	発表年月日
岡村 眞・松岡裕美・千田 昇・島崎邦彦	見えてきた巨大南海地震の再来周期	日本地震学会 2006 年秋季大会	平成 18 年 11 月 1 日
Shimazaki, K., H. Matsuoka, M. Okamura, and N. Chida	Nankai earthquake sequence: observation and inference	Southern California Earthquake Center – Earthquake Research Institute Joint Workshop ‘Earthquake in Urban Areas’	平成 18 年 6 月 1 日
島崎邦彦・松岡裕美・岡村 眞・千田昇・金幸隆・中田高・都司嘉宣・山中佳子他	地震の繰り返し挙動の研究-南海地震を中心として-	大々特 (I) 成果報告会	平成 18 年 11 月 28 日
千田昇, 中上二美	大分県佐伯市米水津とそ	大分大学教育福祉科学部	投稿中

	の周辺地域における宝永4年、安政元年の南海地震と津波の分析	紀要, Vol. 29, No. 1	
金 幸隆・島崎邦彦・松岡裕美・岡村眞	三浦半島南部, 小網代湾における津波堆積物の特徴と浅海堆積物の粒径変化	2005 年日本地震学会秋季大会	平成 18 年 10 月 31 日

3.3.4

著者	題名	発表先	発表年月日
Sagiya, T.	Interplate coupling in the southern Kanto District as viewed from geodetic data: implications of the new plate configuration model	Western Pacific Geophysics Meeting, Beijing	2006 年 7 月 24 日
鷺谷 威	測地データから見た関東・東海地震の再来の複雑性	京都大学防災研究所研究集会「地震発生サイクルとその複雑性」	平成 18 年 12 月 1 日
山中佳子	再考－1944 年東南海地震－	日本地震学会 2006 年秋季大会	平成 18 年 10 月 31 日
Bai, L., I. Kawasaki, T. Zhang and Y. Ishikawa	An Improved Double-difference Earthquake Location Algorithm Using sP Phases: Application to the Foreshock and Aftershock Sequences of the 2004 Earthquake Offshore of the Kii Peninsula, Japan (Mw 7.5)	Earth Planets Space, 58, 823-830	2006 年
石川有三	震源決定における観測点位置の重要性 その① 関東地震などを例として,	地球惑星科学関連学会 2006 年合同大会	平成 18 年 5 月 17 日
Ishikawa, Y.	Redetermination of 1923 Kanto and some old earthquakes using accurate station coordinates	WPGM, Beijing	2006 年 7 月 24 日

3.3.5

著者	題名	発表先	発表年月日
都司嘉宣・上田和枝・行谷佑一・伊藤純一	元禄地震(1703)の詳細震度分布	第22回歴史地震研究会	2005年 9月16日～ 18日
都司嘉宣	安政南海地震(1854)、および宝永地震(1707)による大阪府の詳細震度分布	第23回歴史地震研究会	2006年 9月17日～ 19日

3.3.6

著者	題名	発表先	発表年月日
久田嘉章	震源アスペリティーと震源近傍の強震動特性	第12回日本地震工学シンポジウム論文集	平成18年 11月
Kase Y., S. M. Day	Spontaneous rupture processes on a bending fault	Geophysical Research Letters	平成18年 5月
Miyatake, T., T. Kimura	An improvement of the fault boundary condition in a staggered grid FDM	Pure and Applied Geophysics	平成18年 9月
Yamada, T., J. J. Mori, S. Ide, R. E. Abercrombie, H. Kawakata, M. Nakatani, Y. Iio, H. Ogasawara	Stress drops and radiated seismic energies of microearthquakes in a South African gold mine	Journal of. Geophysical Research	印刷中
Ando, R., C. Scholz	Rupture dynamics and branch nucleation at kinks	AGU Fall Meeting, San Francisco CA (USA)	2006年 12月15日
Ando, R., T. Yamashita	Effects of mesoscopic-scale fault structure on dynamic earthquake ruptures: dynamic formation of geometrical complexity of earthquake faults	European Geosciences Union General Assembly 2006, Vienna (Austria)	2006年 4月3日
Aochi, H., J. Le-Puth, S. Ide	Attempts at using a dynamic rupture source model for ground-motion simulations	Western Pacific Geophysical Meeting, Beijing (China)	2006年 7月24日

久田嘉章	震源モデルによる断層近傍の強震動評価	日本地球惑星科学連合大会, 千葉	2006 年 5 月 16 日
久田嘉章	統計的震源モデルと半無限平行成層グリーン関数による高振動数強震動の計算法	日本地震学会 2006 年度 秋季大会, 名古屋	2006 年 10 月 30 日
Hisada, Y.	An Efficient Method for Simulating Near-Fault Strong Motions at Broadband Frequencies in Layered Half-Spaces	Seismological Society of America, Annual meeting, San Francisco CA (USA)	2006 年 4 月 19 日
Ide, S.	Rupture behavior and seismic energy radiation on heterogeneous faults: 2D dynamic rupture simulation with fractal property	Western Pacific Geophysical Meeting, Beijing (China)	2006 年 7 月 26 日
井出哲・内出崇彦	すべりインバージョンの現在と可能性	日本地球惑星科学連合大会, 千葉	2006 年 5 月 18 日
加瀬祐子	連動型地震におけるすべり量と断層長のスケーリング則	日本地球惑星科学連合大会, 千葉	2006 年 5 月 14 日
加瀬祐子	連動型地震におけるすべり量と断層長のスケーリング則: 傾斜角による違い	日本地震学会 2006 年度 秋季大会, 名古屋	2006 年 11 月 2 日
Kase, Y.	Slip-length scaling in multi-segment rupture: Dependence on dip angle and stress condition	AGU Fall Meeting, San Francisco CA (USA)	2006 年 12 月 15 日
木村武志・宮武隆	破壊が走行方向に伝播する dipping fault における動的応力変化場の特徴 (地表の影響を考慮した場合)	日本地球惑星科学連合大会, 千葉	2006 年 5 月 15 日
木村武志・前田直樹・宮武隆	本震での破壊のディレクティビティと余震活動の関係	日本地球惑星科学連合大会, 千葉	2006 年 5 月 16 日
Matsuzawa, T., P. Segall, P.	Numerical simulation of the transition from	AGU Fall Meeting, San Francisco CA (USA)	2006 年 12 月 14 日

	frictional weakening to thermal pressurization during earthquakes		
--	---	--	--

3.3.7

著者	題名	発表先	発表年月日
山中浩明・山田伸之	関東平野の地下構造と強震動予測	日本地球惑星科学連合 2006 年大会	平成 18 年 5 月
山田伸之・山中浩明	微動アレイ探査による地下構造モデルを用いた関東平野における 2004 年 紀伊半島沖の地震のやや長周期地震動シミュレーション	日本地球惑星科学連合 2006 年大会	平成 18 年 5 月
古村孝志・竹内宏之	都圏直下の地震と強震動 —安政江戸地震と明治東京地震	地学雑誌	2006 年 11 月 (投稿中)
竹内宏之・古村孝志	関東平野における震度分布の異常	日本地震学会 2006 年秋 期大会	2006 年 11 月 2 日

3.3.8

著者	題名	発表先	発表年月日
Matsuoka, M., K., Wakamatsu, K., Fujimoto, and S. Midorikawa	Average Shear-wave Velocity Mapping Using Japan Engineering Geomorphologic Classification Map	Journal of Structural Engineering and Earthquake Engineering JSCE, Vol.23, No.1, pp.57s-68s,	平成18年 4月
Matsuoka, M. and K. Wakamatsu	Development of the 7.5-arc-second engineering geomorphologic classification database and average shear-wave velocity map in Japan metropolitan areas	8th U.S. National Conference on Earthquake Engineering, CD-ROM Vol.1, Paper No.682	平成18年 4月
Wakamatsu, K. and M. Matsuoka	GIS-based Japan Engineering Geomorphologic Classification Database for Seismic Hazard Assessment	Proc. 1st European Conference on Earthquake Engineering and Seismology, CD-ROM, Paper No.762, 9p.	平成18年 9月

Matsuoka, M. and K. Wakamatsu	Nationwide Site Amplification Zoning Using the 7.5-arc-second Japan Engineering Geomorphologic Classification Database	Proc. 3rd International Symposium on the Effects of Surface Geology on Seismic Motion (ESG2006), CD-ROM, Paper No.56 (pp.771-780)	平成18年 9月
Wakamatsu, K. and M. Matsuoka	Development of GIS-based 7.5-arc-second Japan Engineering Geomorphologic Classification Database	Proc. 3rd International Symposium on the Effects of Surface Geology on Seismic Motion (ESG2006), CD-ROM, Paper No.57 (pp.781-789)	平成18年 8月31日
増井大輔・翠川三郎	地震記録に基づく地盤の増幅倍率とみかけ入射角度の関係	土木学会第61回年次講演会	平成18年 9月20日
久保智弘・久田嘉章	東京都を対象とした表層地盤の地盤増幅特性に関する研究（その2）—観測記録との比較—	日本建築学会大会学術講演	2006年 9月
永田葉子・中井正一・石田理永・船橋裕貴	有限要素法による崖近傍地盤の振動特性に関する検討	第41回地盤工学研究発表会	平成18年 7月12日～15日
宮澤 舞・中井正一・石田理永	伝達関数と常時微動・地震動 H/V スペクトルに関する一考察	日本建築学会大会学術講演	平成18年 9月7日～9日
児玉大輔・中井正一・石田理永・船橋裕貴・永田葉子	崖近傍地盤の振動特性の検討（その1 常時微動と有限要素法(FEM)解析）	日本建築学会大会学術講演	平成18年 9月7日～9日
船橋裕貴・中井正一・石田理永・児玉大輔・永田葉子	崖近傍地盤の振動特性の検討（その2 地盤調査に基づく FEM 解析）	日本建築学会大会学術講演	平成18年 9月7日～9日
永田葉子・中井正一・船橋裕貴・石田理永	洪積台地端部における斜面上部の地盤振動特性について	第12回日本地震工学シンポジウム論文集、pp. 702-705	平成18年 11月3日～5日

3.3.9

著者	題名	発表先	発表年月日
Takenaka, H.,	Precise location of the	Earth Planets and	2006

T.Nakamura, Y.Yamamoto, G.Toyokuni and H. Kawase	fault plane and the onset of the main rupture of the 2005 West Off Fukuoka Prefecture earthquake	Space, 58(1), 75-80	
竹中博士・山本容維	P 波を用いたアスペリテ ィーのリアルタイム・イ メージング：リアルタイ ム強震動予測/推定へ向 けて	日本地震学会 2006 年秋 季大会	平成 18 年 10 月 31 日
郷隆之・松波孝治・ 中村正夫	地動速度に対する間隙水 圧応答による表層飽和地 盤の変形－破壊過程の考 察	平成 17 年度京大防災研 究所研究発表講演会	平成 18 年 2 月 22 日
郷隆之・松波孝治・ 中村正夫	地震時における盛土住宅 地盤の変形・破壊過程－ 和歌山市での地震動・間 隙水圧観測から－	日本地震学会 2006 年秋 季大会	平成 18 年 11 月 1 日
鷹野澄・伊藤貴盛	建物用 IT 強震計システ ムの開発と今後の展望	第 836 回地震研究所談話 会	平成 18 年 2 月 24 日
鷹野澄・伊藤貴盛	IT 強震計でみた地震研 建物の震度 1 の揺れ	第 840 回地震研究所談話 会	平成 18 年 6 月 23 日
鷹野澄・伊藤貴盛	IT 強震計でみた建物の 揺れ	第 842 回地震研究所談話 会	平成 18 年 9 月 15 日
鷹野澄・伊藤貴盛	IT 強震計でみた地震研 建物の震度 1 の揺れ	日本地震学会 2006 年秋 季大会	平成 18 年 10 月 31 日

3.3.10

著者	題名	発表先	発表年月日
馬場俊孝・伊藤亜 紀・金田義行・早川 俊彦・古村孝志	制御地震探査結果から構 築した日本周辺海域下の 3 次元地震波速度構造モ デル	日本地球惑星科学連合 2006 年大会	平成 18 年 5 月

3.3.11

著者	題名	発表先	発表年月日
額額一起	地下構造と長周期地震動	日本地震工学会誌	平成 18 年 7 月

古村孝志, 早川俊彦, 瀬瀬一起, 馬場俊孝, 中村操	1944 年東南海地震の強震 動シミュレーションと関 東平野の長周期地震動	月刊地球	平成 18 年 7 月
三宅弘恵, 室谷智子, 瀬瀬一起	プレート境界地震のアス ペリティのスケーリング 則	月刊地球	平成 18 年 7 月
古村孝志, 中村操	1944 年東南海地震記録の 復元と関東の長周期地震 動	物理探査	平成 18 年 8 月
瀬瀬一起, 三宅弘恵	首都圏を襲うであろう直 下地震・海溝型地震と地 震動	2006 年度日本建築学会 大会（関東）災害部門パ ネルディスカッション	平成 18 年 9 月
三宅弘恵, 瀬瀬一起, 古村孝志, 稲垣賢亮, 増田徹, 翠川三郎	首都圏の強震動予測のた めの浅層地盤構造モデル の構築	第 12 回日本地震工学シ ンポジウム論文集	平成 18 年 11 月
Koketsu, K., Tanaka, Y., Hikima, K., Miyake, H., Kobayashi, R. and Ikegami, Y.	Integrated modeling and waveform tuning of regional 3-D velocity structures	2006 Seismological Society of America Annual Meeting	平成 18 年 4 月
Miyake, H., Koketsu, K., Kobayashi, R., Tanaka Y. and Ikegami, Y.	Near-fault broadband ground motions from a megathrust earthquake: A case of the great 1923 Kanto earthquake	2006 Seismological Society of America Annual Meeting	平成 18 年 4 月
Koketsu, K., Miyake, H., Furumura, T., Sato, H. and Hirata, N.	Prediction of strong ground motion from large subduction-zone earthquakes	2006 APRU/AEARU Research Symposium	平成 18 年 4 月
瀬瀬一起, 三宅弘恵, 横山博文, 中村操	2005 年千葉県北西部の地 震：震源メカニズムと強 震動	日本地球惑星科学連合 2006 年大会	平成 18 年 5 月
古村孝志, 中村操, 早川俊彦, 馬場俊孝	1944 年東南海地震・1946 年南海地震における関東 平野の長周期地震動	日本地球惑星科学連合 2006 年大会	平成 18 年 5 月
三宅弘恵, 瀬瀬一起	海溝型地震における強震 動予測	日本地球惑星科学連合 2006 年大会	平成 18 年 5 月

三宅弘恵, 瀬瀬一起, 古村孝志, 稲垣賢亮, 増田徹	首都圏下の速度構造の大大特統合モデル(3): ボーリング情報を活用した浅層地盤モデルの構築	日本地球惑星科学連合 2006 年大会	平成 18 年 5 月
小林励司, 瀬瀬一起	新しい 3 次元速度構造モデルおよび曲面状の断層面を用いて推定した 1923 年関東地震の震源過程	日本地球惑星科学連合 2006 年大会	平成 18 年 5 月
田中康久, 三宅弘恵, 瀬瀬一起, 古村孝志, 早川俊彦・馬場俊孝, 鈴木晴彦, 増田徹	首都圏下の速度構造の大大特統合モデル(2): 海溝型地震のためのモデル拡張とチューニング	日本地球惑星科学連合 2006 年大会	平成 18 年 5 月
引間和人, 瀬瀬一起	波形インバージョンによる 2 次元速度層境界形状の推定と 3 次元速度構造モデルの構築	日本地球惑星科学連合 2006 年大会	平成 18 年 5 月
早川俊彦, 引間和人, 古村孝志, 三宅弘恵, 瀬瀬一起	強震動予測計算のための 2004 年新潟中越地震震源域の 3 次元速度構造モデル	日本地球惑星科学連合 2006 年大会	平成 18 年 5 月
畑奈緒未, 三宅弘恵, 瀬瀬一起	海溝型地震の強震動生成域とアスペリティ	日本地球惑星科学連合 2006 年大会	平成 18 年 5 月
竹内宏之, 古村孝志	関東平野における震度分布の異常	日本地球惑星科学連合 2006 年大会	平成 18 年 5 月
Koketsu, K., Furumura, T. and Miyake, H.	Simulation of damaging long-period ground motions from distant earthquakes	SCEC-ERI Joint Workshop	平成 18 年 6 月
Miyake, H. and Koketsu, K.	Strong motion validation in the Tokyo metropolitan area	SCEC-ERI Joint Workshop	平成 18 年 6 月
高橋徹, 瀬瀬一起	境界要素法におけるグラフィックスボードを利用した HPC	第 11 回計算工学講演会	平成 18 年 6 月
Miyake, H., Koketsu, K., Iwata, T. and Asano, K.	Long-period ground motions in distance basins from the 2005	ESG2006	平成 18 年 8 月

	Kii-peninsula earthquake, Japan		
Koketsu, K., Miyake, H., Tanaka, Y. and Hikima, K.	Integrated modeling of a 3-D velocity structure for strong motion simulation	Seismix2006	平成 18 年 9 月
額瀨一起, 三宅弘恵	強震動予測のための地下 構造の標準的なモデル化 手法	物理探査学会第 115 回学 術講演会	平成 18 年 10 月
額瀨一起	大震災の可能性	日本保険学会平成 18 年 度大会共通論題	平成 18 年 10 月
額瀨一起, 三宅弘恵, 田中康久	強震動予測のための地下 構造の標準的なモデル化 手法	日本地震学会 2006 年度 秋季大会	平成 18 年 11 月
古村孝志, 早川俊彦, 額瀨一起, 馬場俊孝, 金田義行, 中村操	南海トラフ巨大地震と長 周期地震動	日本地震学会 2006 年度 秋季大会	平成 18 年 11 月
三宅弘恵, 額瀨一起, 小林励司, 田中康久, 池上泰史	首都圏における強震動評 価(1): 関東地震	日本地震学会 2006 年度 秋季大会	平成 18 年 11 月
高橋徹, 三宅弘恵, 額瀨一起	3 次元時間域動弾性クラ ック問題に対する高速多 重極法の適用	日本地震学会 2006 年度 秋季大会	平成 18 年 11 月
石瀬素子, 小田仁, 三宅弘恵, 額瀨一起	日本列島弧中央部の三次 元 P 波異方性速度構造	日本地震学会 2006 年度 秋季大会	平成 18 年 11 月
田中康久, 三宅弘恵, 額瀨一起	首都圏下の速度構造の大 大特統合モデル(4): 地殻 構造とプレート構造	日本地震学会 2006 年度 秋季大会	平成 18 年 11 月
竹内宏之, 古村孝志	関東平野における震度分 布の異常	日本地震学会 2006 年度 秋季大会	平成 18 年 11 月
Koketsu, K., Ikegami, Y., Kimura, T. and Miyake, H.	Effects of long-period ground motion on distant basins: The 1906 San Francisco earthquake and comparison with Japanese cases	2006 American Geophysical Union Fall Meeting	平成 18 年 12 月
Ishise, M., Koketsu,	P-wave anisotropic velocity	2006 American	平成 18 年

K. Miyake, H. and Oda, H.	tomography beneath the Japan Islands: Large-scale images and details in the Kanto district	Geophysical Union Fall Meeting	12 月
---------------------------	--	--------------------------------	------

3.4.2.1

著者	題名	発表先	発表年月日
西上 欽也	2004 年新潟県中越地震の震源域における不均質構造	日本地球惑星科学連合 2006 年大会	平成 18 年 5 月 17 日
西上 欽也	散乱波・トラップ波による断層帯の深部構造のモニタリング	日本地震学会 2006 年秋季大会	平成 18 年 11 月 1 日
K. Nishigami	Deep heterogeneous structure of active faults in the Kinki region, southwest Japan: Inversion analysis of coda envelopes	American Geophysical Union 2006 Fall Meeting	平成 18 年 12 月 14 日

3.4.2.2

著者	題名	発表先	発表年月日
小笠原知彦, 片尾浩, 飯尾能久	丹波山地における微小地震のメカニズム解決定と応力場の推定	京都大学防災研究所年報, 49, B, pp. 331-338, 2006	平成 18 年 4 月
片尾浩, 小笠原知彦, 飯尾能久	近畿地方北部の微小地震の発震機構	日本地震学会 2006 年秋季大会, P211	平成 18 年 11 月 2 日

3.4.2.3

著者	題名	発表先	発表年月日
廣瀬一聖, 伊藤 潔	広角反射法および屈折法解析による近畿地方の地殻構造の推定	京都大学防災研究所年報, 49B, CD-ROM	2006 年 4 月
廣瀬一聖, 伊藤 潔	人工地震探査による近畿地方中北部の地殻構造 (3)	日本地球惑星科学連合 2006 年大会, S118-P004.	2006 年 5 月 16 日
Hirose, I. and K. Ito	Deep structure and seismicity in the Kinki	12 th International symposium on deep	2006 年 9 月 27 日

	district, southwest Japan, as revealed by seismic refraction and wide-angle reflection surveys	seismic profiling of the continents and their margins	
廣瀬一聖, 伊藤潔	大大特 I : 地殻構造探査による近畿地方の P 波速度構造	日本地震学会 2006 年秋季大会, C072	2006 年 11 月 2 日
大見士朗	近畿地方中央部の地震波速度構造	日本地球惑星科学連合 2006 年大会, S118-012	2006 年 5 月 18 日
中村佳重郎, 赤松純平, 西村敬一, 駒澤正夫	有馬・高槻構造線東端周辺の重力異常と基盤構造	日本測地学会第 106 回講演会	平成 18 年 10 月 18 日
赤松純平, 中村佳重郎, 西村敬一, 駒澤正夫	大阪盆地北東部の 3D 基盤構造による地震動増幅域	第 25 回日本自然災害学会学術講演会	平成 18 年 11 月 14 日

3.4.3.1

著者	題名	発表先	発表年月日
小林知勝, 橋本学	新しい地殻構造調査結果に基づく南海トラフ沿いにおけるプレート間カップリングの推定	日本地球惑星科学連合 2006 年大会	平成 18 年 5 月 14 日
Kobayashi, T. and M.Hashimoto	Estimate of Interplate Coupling along the Nankai Trough by Using a New Plate Model	Asia Oceania Geosciences Society 3rd Annual Meeting, Singapore	平成 18 年 7 月 10 日
小林知勝, 橋本学, 田部井隆雄	GEONET および紀伊半島・四国稠密 GPS 臨時観測データを用いた南海トラフ沿いのプレート間カップリングの推定	日本地震学会 2006 年秋季大会	平成 18 年 11 月 1 日
Kobayashi, T., M.Hashimoto and T.Tabei	Estimate of Interplate Coupling along the Nankai Trough, Southwest Japan, Using a New Plate Interface Model	American Geophysical Union 2006 Fall Meeting	平成 18 年 12 月 14 日

橋本学	断層の準静的モデルの構築と歪蓄積過程	大大特（I）成果報告会	平成 18 年 11 月 29 日
-----	--------------------	-------------	----------------------

3.4.3.2

著者	題名	発表先	発表年月日
Mitsui, M. and K., Hirahara	Slow slip events controlled by the slab dip and its lateral change along a trench	Earth Planet. Sci. Lett., 245, pp. 344-358	平成 18 年 4 月 3 日
光井能麻, 堀高峰, 平原和朗	数値シミュレーションとデータ解析の考察が示す東海スロースリップの新たな存在意義	日本地球惑星科学連合 2006 年大会	平成 18 年 5 月 15 日
平原和朗, 堀高峰, 兵藤守, 光井能麻	南海トラフ巨大地震発生サイクルと西南日本内陸地震の発生	日本地震学会 2006 年秋季大会	平成 18 年 11 月 1 日
飯尾能久	兵庫県南部地震前の地殻活動と上部地殻の非弾性変形	日本地球惑星科学連合 2006 年大会	平成 18 年 5 月 14 日
飯尾能久	クリープモデルと Weak zone model	日本地球惑星科学連合 2006 年大会	平成 18 年 5 月 17 日
古本宗充, 工藤健, 田中俊行	内陸地震の最大規模と地温勾配の関係	日本地震学会 2006 年秋季大会	平成 18 年 11 月 2 日
田中俊行, 田中寅夫	深部低周波微動活動は絶対重力測定に影響したか？	日本測地学会第 106 回講演会	平成 18 年 10 月 18 日
工藤健	日本列島における内陸地震の最大規模分布図作成に関する研究	中部大学地球ウォッチ・市民安全センター平成 18 年度研究報告書	平成 19 年 3 月
豊田暁来, 川方裕則, 小林知勝, 他	2000 年鳥取県西部地震震源断層付近の地震前・地震後のひずみ速度テンソルの変化について	日本地球惑星科学連合 2006 年大会	平成 18 年 5 月 15 日
豊田暁来, 川方裕則, 小林知勝, 橋本学	2000 年鳥取県西部地震震源断層付近の地震前・地震後のひずみ速度テンソルの変化について(2)	日本地震学会 2006 年秋季大会	平成 18 年 11 月 1 日
Toyoda, A., H.Kawakata,	Temporal changes in strain rate tensor near	American Geophysical Union 2006 Fall	平成 18 年 12 月 13 日

T.Kobayashi and M.Hashimoto	the 2000 Western Tottori Earthquake fault	Meeting	
--------------------------------	---	---------	--

3.4.4.1

著者	題名	発表先	発表年月日
Asano, K. and T. Iwata	Source Rupture Process of the 2004 Chuetsu, Mid Niigata Prefecture, Japan, Earthquake Inferred from Waveform Inversion with Dense Strong Motion Data	Submitted to Bull. Seism. Soc. Am.	2006 年 11 月
Asano, K. and T. Iwata	Characterization of static stress drops on asperities of inland crustal earthquakes from kinematic source inversion results	Submitted to Geophys. Res. Lett.	2007 年 1 月
亀伸樹, 内田浩二	破壊面結合動力学モデル の地震波放射 - 等価破 壊パラメタ不均質による 短周期地震波発生の考察 -	日本地震学会 2006 年秋 季大会	平成 18 年 11 月 2 日
Kame, N. and K. Uchida	Seismic Radiation of Crack Coalescence Model and Reconstruction of Seismically Equivalent Single Crack Model	American Geophysical Union 2006 Fall Meeting	平成 18 年 12 月 13 日
Ando, R., N. Kame and T. Yamashita	An Efficient Boundary Integral Equation Method Applicable to the Analysis of Non-planar Fault Dynamics	Earth, Planets and Space	平成 19 年 (掲載決定)
T. Sasatani,	Source characterization	Third International	平成 18 年

N. Morikawa and T. Maeda	and strong motion prediction for intraslab earthquakes	Symposium on the Effects of Surface Geology on Seismic Motion 2006, Grenoble, France	8 月 31 日
野口科子, 前田宜浩, 森川信之, 笹谷努	スラブ内地震による強震 動の予測手法の検証	日本地震学会 2006 年秋 季大会, P063	2006 年 10 月 31 日
Miyazawa, M. and J. Mori	Recorded Maximum Seismic Intensity Maps in Japan from 1586 to 2004	Seismol. Res. Lett., 77, pp. 154-158, 2006	2006 年 3-4 月
Sato, K. and J. Mori	Scaling relationship of initiations for moderate to large earthquakes	J. Geophys. Res. 111, B005306, 10.1029/2005jb003613, 2006	2006 年 5 月
Sato, K. and J. Mori	Relationship between rupture complexity and earthquake size	J. Geophys. Res. 111, B005307, 10.1029/2005jb003614, 2006	2006 年 5 月
Kano, Y., J. Mori, R. Fujio, H. Ito, T. Yanagidani, S. Nakao and K.F. Ma	Heat Signature on the Chelungpu Fault Associated with the 1999 Chi-Chi, Taiwan Earthquake	Geophys. Res. Lett., doi:10.1029/2006GL026 733, 2006	2006 年 8 月
Park, S. and J. Mori	Are Asperity Patterns Persistent? Implication from Large Earthquakes in Papua New Guinea	J. Geophys. Res., (in press), 2006	
Mori, J. and K-F Ma	Estimates of Seismic Fracture Energy for Large Earthquakes	日本地球惑星科学 連合 2006 年大会, J162-003	2006 年 5 月 16 日
Mori, J.	Estimates of the Slip-Weakening Distance and Fracture Energy from Near-Field Records of the 1999 Chi-Chi, Taiwan	SCEC-ERI Joint workshop on crustal structure characterization and strong ground motions, Oxnard, USA	2006 年 6 月 1 日

	Earthquake		
Mori, J. and S. Park	2006 年 7 月 17 日西ジャ ワ地震の破壊伝播過程の 推定	日本地震学会 2006 年秋 季大会, A66	2006 年 11 月 2 日
Mori, J. and S. Park	Rupture Propagation of the July 17, 2006 Java Earthquake from Back Projection of Hi-Net Data	American Geophysical Union 2006 Fall Meeting, S21A-0126	2006 年 12 月 12 日
Kawase, H. and Y. Nejime	Separation of Observed Ground Motion Spectra to Get Site Amplification Factors: Linearity and Nonlinearity	Third International Symposium on the Effects of Surface Geology on Seismic Motion 2006, Grenoble, France	平成 18 年 8 月 30 日
Kawase, H.	Borehole Observation for Site Effect Studies	Third International Symposium on the Effects of Surface Geology on Seismic Motion 2006, Grenoble, France	平成 18 年 8 月 30 日
祢占雄介, 川瀬博	全国の強震動ネットワ ークの観測記録から抽出し たサイト特性 福岡県西 方沖地震の記録に着目し て	日本建築学会大会学術講 演梗概集, B-2 構造 II, pp. 23-24	平成 18 年 9 月 7 日
川瀬博	福岡県西方沖地震で観測 された震度計データとそ の構造物破壊能	日本地震工学会論文集, 2006	投稿中

3.4.4.2

著者	題名	発表先	発表年月日
岩田知孝, Anatoly Petukhin, 香川敬生	強震動シミュレーション のための近畿圏地盤・地 殻構造モデルの構築	日本地球惑星科学連合 2006 年大会	2006 年 5 月 16 日
Iwata, T., T. Kagawa, A. Petukhin and Y. Onishi	Basin and Crustal Structure Model for Strong Ground Motion Simulation in Kinki	SCEC-ERI Joint workshop on crustal structure characterization and	Jun. 2, 2006

	area	strong ground motions, Oxnard, USA	
Iwata, T., T. Kagawa, A. Petukhin and Y. Onishi	Basin and Crustal Structure Model for Strong Ground Motion Simulation in Kinki, Japan	Third International Symposium on the Effects of Surface Geology on Seismic Motion 2006, Grenoble, France	平成 18 年 8 月 31 日
Iwata, T., T. Kagawa, A. Petukhin and Y. Onishi	Basin and Crustal Structure Model in Kinki Area and Long-Period Ground Motions	国際ワークショップ「長 周期地震動と地下構造」	Nov., 15, 2006
岩田知孝	強震動予測のためのモデル 高精度化	大大特（I）成果報告会	2006 年 11 月 29 日
Iwata, T., T. Kagawa, A. Petukhin and Y. Onishi	Basin and Crustal Velocity Structure Modeling for Strong Motion Simulation in Kinki Area, Japan	American Geophysical Union 2006 Fall Meeting	平成 18 年 12 月 12 日
岩城麻子, 岩田知孝	2004 年紀伊半島沖地震 における大阪堆積盆地内 長周期地震動の震動方向 の特徴	日本地球惑星科学連合 2006 年大会, S116-P007	平成 18 年 5 月 7 日
岩城麻子, 岩田知孝	2004 年紀伊半島南東沖 地震による大阪堆積盆地 の長周期地震動特性	日本地震学会 2006 年秋 季大会, P143	平成 18 年 11 月 1 日
岩城麻子, 岩田知孝	長周期地震動シミュレー ションによる大阪堆積盆 地構造モデルの検証	平成 18 年度京都大学防 災研究所研究講演発表 会	平成 19 年 3 月 6 日 (予定)
川辺秀憲, 釜江克宏	大阪平野における長周期 地震動の Q_s 値の推定	2006 年度日本建築学会 大会（関東）学術講演会	平成 18 年 9 月 9 日
川辺秀憲, 釜江克宏	大阪平野における長周期 地震動評価のための最適 な Q 値の推定	第 12 回日本地震工学シ ンポジウム論文集, pp.1458-1461, 2006	平成 18 年 11 月

4. 2. 2 新聞発表等

日付	新聞等の名称	タイトル	関係者
平成 18 年 5 月 15 日	東京新聞	首都圏大地震に関連 フィリピン海岩板 甲府盆地の地下 40 キロ	佐藤比呂志教授
平成 18 年 6 月 23 日	朝日新聞	ラボ列島＝東京大地震研究所 活用探る IT 強震計	鷹野澄助教授
平成 18 年 8 月 19 日	日本経済新聞	東大地震研究所 近畿で地殻構造探査 地震の被害予測	佐藤比呂志教授
平成 18 年 8 月 19 日	産経新聞 大阪	東大地震研究所 地殻探査で揺れ予測 大阪-和歌山大地震を想定	佐藤比呂志教授
平成 18 年 8 月 22 日	日刊工業新聞	東大地震研究所が特別プロジェクトの一環 近畿で地殻構造探査	佐藤比呂志教授
平成 18 年 10 月 7 日	読売新聞 大阪	京大と東大 活断層”探査車”発進 琵琶湖西岸 100 キロ	東京大学地震研究所 京都大学防災研究所
平成 18 年 10 月 7 日	産経新聞 大阪	東大・京大研究所 近畿 4 ルート目 琵琶湖西岸断層含む 100 キロ探査	東京大学地震研究所 京都大学防災研究所
平成 18 年 11 月 22 日	日本経済新聞	東南海地震で首都圏 超高層ビル 30 分超揺れも	古村孝志助教授
平成 18 年 11 月 22 日	朝日新聞（滋賀県版）	地震で琵琶湖どう揺れる？ 東大と京大、地殻構造を研究	東京大学地震研究所 京都大学防災研究所
平成 18 年 11 月 22 日	読売新聞（滋賀県版）	大地震懸念 琵琶湖など 地殻構造を調査	東京大学地震研究所 京都大学防災研究所